

県への再質問

【1】 避難用のバス車両、運転手の確保について

（再質問 1） 避難対象人口を最大約 17 万人と想定している点について。

放射能物質の放出量や風向き風力等でシミュレーションは変わると考えます。その際、避難対象人口は 17 万人を超えることも想定されるのではないのでしょうか。そうした想定についてはどのように考えているのでしょうか。

（再質問2） 避難対象人口、最大約 17 万人分が想定されている以上、その方たちを安全かつ円滑に避難できるだけの運転手または、バスの台数を確保できない限り、再稼働の承認はしないという理解でよろしいでしょうか。

（再質問3） 運転手の被ばく限度が1ミリシーベルトとすると、20マイクロシーベルトでは50時間を超えることができません。このように、運転手の被ばく線量を想定するには、避難にかかる時間が重要であり、時間的シミュレーションは不可欠です。時間的シミュレーションはどこまでできているのでしょうか？そのシミュレーション結果をどう生かすのですか？

1ミリシーベルトを超える被ばくが想定されれば、実動組織である自衛隊が協力するとのことですが、自衛隊にどのように協力をお願いするのか、その内容を具体的に教えてください。それらの内容を、県民にしっかり伝えていただきたいと思います。いかがでしょうか？

（再質問4） バス会社へ県の補償が必要になった場合、どこから捻出することになるのでしょうか。また、予算化はどうするのでしょうか。